

活 動 名	環境にやさしい人づくり
活動内容	1) 「環境創作劇の上演とエコ講座」の開設 市民への啓発には、人の心を強く揺さぶる演劇が効果的と考え、環境改善に焦点を絞り、「命ある食べ物を大切に」「CO2 削減による地球温暖化防止」「プラごみ削減による海洋汚染の防止」など、時流に合わせテーマを変えながら、小学校や公民館などで上演してきました。過去 14 年間の上演回数は 62 回、観客は平均 180 人、延べ 11,000 人に及び、県民の約 1.6%を啓発したことになります。 2) 「もったいない運動」の実施（発災の翌年から実施 2024.3.7 13 回目を実施） 2011 年 3 月 11 日「東日本大震災」発災直後の非常時には、全国に節電や被災地への食糧支援などが呼びかけられ、その危機感を契機に人々の間に大量生産・大量消費社会に対する反省と、循環型社会への移行議論が高まりました。しかし、年月とともに震災の記憶は薄れ、そうした機運も当時の勢いを失っています。 当クラブでは毎年この時期に「もったいない運動」を行うことで、人々に「いまだ完全復興とはいえない東日本大震災の被災地」のこと、「令和 6 年能登半島地震」のことを思い起こしてもらい、「もったいないの心」で、限りある資源を大切に、被災地の復興と脱炭素社会（カーボンニュートラル）へ向けた輪が大きく広がることを願っています。 3) その他の活動 ・春と秋の「海ごみゼロウィーク」にあわせ「海岸の漂着ごみ回収作業」 ・松江市、まつえ環境市民会議 主催行事への参加協力
活動効果	1) 創作劇を見た児童、教師からの感想文 ・児童：学校でも家でもエコを始めた。我が家の環境大臣だ。大人になったらおじさんたちのように頑張り、エコリーダーになりたい。 ・教師：劇を見て感動することで行動に結び付く。校内での節水、給食廃棄がすくなくなつた。学校の環境教育とうまく連動した。 近年は、学校教育の多様化などにより、学校での開催が困難になってきています。 2) 「もったいない」＝「クールチョイス」 環境を守る世界共通語である「MOTTAINAI」は、「クールチョイス(賢い選択)」とも共通語といえます。脱炭素社会づくりの貢献する「節電」「食品ロス防止」「マイカー抑制」「ごみ減らし」などの理解と実行の輪が広がることを願っています。

報告：2024.3.25

活動の一部を HP に掲載しています。 https://www.shimane-ikiiki.jp/volunteer_groups/920

